

令和3年度 一般陸曹候補生課程後期及び新隊員特技課程教育

旭川駐屯地内では、第2特科連隊、第2後方支援連隊、第2高射特科大隊、第2施設大隊、第2通信大隊の5つの部隊で後期教育を実施しています。後期教育は、入隊して自衛隊の前期教育（3ヶ月間）を終えた隊員が、それぞれの職種について修得する教育です。酷暑の7月から始まった教育も9月に修了を迎えます。新隊員の頑張っている姿に元気をもらっています！

【第2特科連隊】

7月5日～9月14日まで、約80名に対し野戦特科職種の基礎となる「99式自走155mm榴弾砲」について教育をしています。射撃のために必要な火砲の築城や砲班訓練の野外訓練をメインとし、男女関係なく頑張っています。総合訓練では陣地進入（陣地に入ること）、射撃準備、敵から身を隠すための偽装や有線を埋設したり、射撃任務を実行するための一連の訓練を行いました。

教育を受けている男性自衛官は、「99式自走155mm榴弾砲はカッコいいなと思っていましたが、扱ってみると色々なシステムやボタン操作もあり、カッコいいだけでなく凄いなと思いました。第1希望は特科職種ではありませんでしたが、今は特科職種で良かったです！もうすぐ部隊配属ですが、先輩たちに「凄いな」と思ってもらえるよう一生懸命、頑張ります！」と澆漑と答えてくれました。



偽装網展張



空包射撃



掘開



火砲進入（掩体）

【第2後方支援連隊】

教育期間は7月4日～9月7日、約20名に対し「小火器整備」、「装輪車整備」等について教育をしています。

教育を受けている女性自衛官は「整備が好きです。整備をする際は組み間違いをしない、部品をなくさないように気を付けていました。」と話してくれました。入隊のきっかけを聞くと「小さい頃に自衛隊のおまつりに行ったりして憧れがありました。飲食業で10年以上勤めていましたが、自衛隊入隊年齢が32才に引き上げになったことや将来を考えて。」と教えてくれました。年齢の不安はあったそうですが、明るく話す姿に今後の活躍が期待されます。



今から行くぞ！



周囲異状なし



前方異状なし



頑張ってる掘る！

【第2高射特科大隊】

教育期間は7月1日～9月10日、約30名に対し高射職種の基礎となる「短SAM（短距離地对空誘導弾）」、「近SAM（近距離地对空誘導弾）」の2つの器材について教育をしています。

教育を受けている女性自衛官に一番大変だったことを聞くと「短SAM、近SAM操法は、覚えることが多くて大変でしたが、新しいことばかりで刺激があって良かったです！総合訓練では掩体構築や歩哨をやりました。掩体を掘るのに慣れていないので、コツを掴むまではすぐに疲れたりしましたが、班で1つの掩体を掘るので皆で頑張るって良い掩体を構築することができました。」と話してくれました。男性と比べて大変だったことを聞くと「動くのが好きなので男性隊員より大変だと思うこともなく、充実した教育期間を過ごすことができました。」と答えてくれました。今後は、「近SAM操法をやっているのが楽しかったので、部隊に配属されてからも頑張りたいです。」と、しっかりとした表情で話してくれました。入隊のきっかけを聞くと「父と兄が自衛官です。自分も学生時代ずっと柔道をやっていたので、活かしたいと思ったからです。」と教えてくれました。



教育開始式



操法訓練



操法訓練



射撃訓練

【第2施設大隊】

教育期間は7月5日～9月17日、約30名に対し施設職種の基礎となる「施設基礎作業」、「漕舟（そうしゅう）」、「爆破」について教育をしています。ショベルの使い方を指導していた班長にコツを聞くと「長い時間、掘っても疲れないうのは水平投土（すいへいとうど）というやり方です。ショベルを土に差し『てこの原理』でしっかり返す。体をそのまま後ろに振る感じで引き上げて、反動を利用して前方に土を振り投げる（振り出す）感じですよ。」と教えてくれました。最後の写真の漕舟訓練は6名～8名で漕いでいます。災害がないことを願っていますが、水害時などの救助に活用するために訓練をしています。舟を2艘つなげた『全形舟（ぜんけいしゅう）』となれば、より多くの隊員が乗れます。

教育を受けている男性自衛官に後期教育の一番の思い出を聞くと「初めての漕舟訓練です。真夏の暑い中、1日中野外だったので真っ黒に日焼けしました。訓練の意図をくみながら、皆、一丸となって取り組みました。班対抗の競技会もあり、皆の団結がより深まりました。施設職種は厳しいところだと聞いていたので最初は不安がありましたが、教官や班長がいていねいに教えてくれてコミュニケーションもとれて、同期と支えあいながら良い教育期間を過ごすことができました。」と熱く話してくれました。入隊のきっかけは「募集広報官の説明や自衛隊のイベントに参加しているうちに、自衛隊に興味が出たので。」と教えてくれました。



教育開始式での集合写真



ショベルの携行姿勢「かかえ」の動作の1つ。「になえ」や「ひかえ」もあります。



「ショベルはこう持つんだよ！」と体で教えてくれる班長



班長の教えを受けてコツを掴んだ新隊員。これで作業量倍増！



施設基礎作業「植杭」かけやで力強く杭を打ち込んでいます。気合を合わせて作業中！



木材と木材を綱でつなげる連結。これで高所作業もできるようになります。



のみ込みが早くてテキパキしていて頼もしいです！



女性自衛官の班付と新隊員 自衛隊では女性も幅広く活躍中☆ 結び方も色々あります。



班長から理解したかを聞かれて笑顔で「はいっ！」と満点の良い返事



漕舟訓練は心を1つにチーム一丸で漕ぎまくる！翌日は筋肉痛…

【第2通信大隊】

教育期間は7月1日～9月24日、約30名に対し通信職種の基礎となる「システム運営」（パソコン通信・ネットワーク構築等）について教育をしています。

教育を受けている男性自衛官に後期教育の感想を聞くと「システムに興味があったので、教育にはすんなり入ることができました。しかし実際にやっていると端末操作や正確な入力が必要でちょっと大変でした。ですが、仲間と協力し合って、意思の疎通を図りながら頑張ることができました！」と話してくれました。入隊のきっかけは、「困っている人を助けたいと思ったからです。自衛隊に入ったら自分も変わって、自信をもって人を助けられると思ったからです。」と教えてくれました。

別の男性自衛官は、「端末操作や機械操作が苦手なので最初は抵抗がありましたが、教官、助教が日々丁寧に教えてくれるのでついていこうと思い頑張って、ひと通りの操作ができるようになりました。有線構成訓練は、体力面よりも結び方などの技術的なことを覚えるのが大変でした。」と話してくれました。「入隊のきっかけは、民間の方々を笑顔にできる仕事だと思い入隊しました。」と教えてくれました。

女性自衛官に一番大変だったことを聞くと「総合訓練で組長をやったことです。自分の性格的に人に何か指示したり命令するのが苦手なので不安でしたが、その役職につくことで良い経験ができました。システム運営は自分にあっていると思うので、部隊配属されてから色々な経験を積み重ねて自信をつけて、もっと成長していけたらと思います。」と話してくれました。男性と比べて大変だったことを聞くと「最初は体力面や声の大きさに圧倒されましたが、一緒に教育を受けているうちに良い意味で感化されて成長できました。皆、同期として一致団結しています！」と充実した後期教育であったことを教えてくれました。自衛隊入隊のきっかけは、お父様が若い頃に自衛隊に憧れていたことがあり勧められたそうです。地元の大阪から遠く離れた旭川での勤務ですが、持ち前の明るさで活躍間違いなしです。

話しを聞きに行った日も円陣を組んで士気を高め、終礼後も体幹訓練を行う等、一丸となって頑張っていました！



教育開始式



教育（座学）



システム教育



有線構成訓練



偽装網展張訓練



射撃訓練



体力測定



格闘訓練



総合訓練



集合写真